すみゆめ踊行列

Sumiyume Dance Parade

さくらばし輪をどり

Saurabashi Bon Dance

隅田川に架かる桜橋で繰り広げる、老若男女誰もが楽しめる“古くて新しいかたちの盆踊り”です。

よく知られる「東京音頭」や「炭坑節」などを生楽団が演奏し、さまざまな歌い手さんが歌唱。江州音頭など日本を代表する音頭の踊りレクチャータイムや、ユニークで楽しい振付のケケノコ族とのダンスタイム、時を経ても色あせない大ヒット曲で踊ってみるメガヒッツ盆のコーナーもあり。墨田区と台東区の友好の証「桜橋」の真ん中で、みんなで一緒に踊りましょう！

2019年9月22日（日）

16:00～20:00

場所　桜 橋
Sakurabashi, Sumida City, Taito City, Tokyo
（隅田川／台東リバーサイドスポーツセンター近く）
雨天の際は、小梅小学校（墨田区向島2-4-10）で実施

＼盛りだくさん！／

出演　アラゲホンジ、小川美潮、岸野雄一、ケケノコ族、さとうじゅんこ、ジンタらムータ、スキップスキップバンバン from台湾、珍盤亭娯楽師匠、DONUTS DISCO DELUXE（ANI from スチャダラパー / ロボ宙 / AFRA）、にゃんとこ、モノガタリ宇宙の会、山田参助、山田広野 ほか

＼公開リハーサル＆踊り練習会／

9月21日（土）15:00～

本所地域プラザBIGSHIP
4階多目的ホールにて
（墨田区本所1-13-4）

主催：「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
特別協賛：ＹＫＫ株式会社
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

影絵 水と油の輪っかっか

Shadow Play Performance ： A Cicle of Oil and Water

インドネシアで影絵人形芝居と伝統打楽器ガムランを学んだアーティストの川村亘平斎による新作影絵公演。

雨水市民の会とTOKYO油田の活動に着想を得て、すみだの地に根ざした「水」と「油」をモチーフにした物語が編み出され、子供達が影絵の制作にかかわり、披露します。スクリーンのこちら側と向こう側、演じる側と観る側の隔たりが徐々に曖昧になり、日常を過ごす公園という場が、一夜限り、光と影に包まれます。

2019年9月29日（日）

18:00〜19:00

場所

緑町公園

Midoricho Park, Sumida Hokusai Museum, Sumida City, Tokyo

（すみだ北斎美術館前／墨田区亀沢2-7-7）

雨天の際は、すみだ北斎美術館 MARUGEN100(講座室)で実施

出演

川村亘平斎（音楽家、影絵師）ほか

川村亘平斎 KOHEISAI KAWAMURA

1980年、東京生まれ。インドネシア共和国・バリ島に2年間滞在し、影絵人形芝居【ワヤン・クリット】と伝統打楽器【ガムラン】を学ぶ。アジアを中心に世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを通じて、土地に残る物語を影絵作品として再生させる活動も高く評価されている。ガムランを使った音楽ユニット【滞空時間】主宰ほか、絵本や漫画の制作、CMへの楽曲提供など幅広く活動している。平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞。

【お問い合わせ】「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会 事務局
電話：03-5608-5446（受付時間　平日9:30〜16:30）／ E-mail：sumiyume@sumida-bunka.jp
URL：http://sumiyume.jp